

特別養護老人ホーム

春をむかえます

昨年に引き続き、一階のホールに「カリヨン神社」を設けました。そこで利用者の皆さん手を合わせてお参りをして、新年を迎えました。



今年も大流行したインフルエンザもどく吹く風で、冬を乗り越えられたのは、日々笑顔で過ごしていたからでしょう。

二月三日

(日)には、毎年恒例の節分の豆まきを行ないました



職員が粉した瘦せた鬼たちに向かって、「鬼は外！」「福は内！」と言いながら日頃の何とかのように、一生懸命に豆をまく方や、それを見ながら豆を食べている方やそれぞれに楽しませていました。最後には、見事に鬼も退散し利用者の皆さんの福福しい笑顔が残りました。



三月になり日に日に暖かさも加わり、南窓から見えるカリヨンの桜もつぼみが膨らんできています。これからは少しずつ季節感を感じられる花見外出やイベントをおこなっていく予定です。



ケアハウス

ふれあい

先日、キッズガーデンカリヨンの杜の可愛い園児たちとふれあう機会がありました。

普段関わることの少ない、ひ孫程歳の離れた園児達のかわいいダンスや歌を聴いたり、もみじの葉ぐらいの小さな手と握手をしたりしました。「あー、可愛い」、「ちっさい手やなー」と参加された入居者の皆さんは大喜びでした。



デイサービス

節分

二月一、二日のレクリエーションの時間に赤鬼と青鬼がデイサービスにやってきました。利用者皆さんは職員が扮した鬼が登場すると、館内に笑いの渦がおり、「鬼は外！福は内！」大きな声で思い思いに、新聞紙を小さく丸めた物(豆)を投げて楽しめました。

旧年中の厄を払うことが出来たので、今年一年無病息災を願う事が出来ました。



蟹江町東地域包括支援センター

地域包括支援

蟹江町から委託を受け、蟹江町の中心を南北に流れる蟹江川を挟み東側の地域を担当区域にしています。

地域に住む高齢者の総合的な相談窓口として専門職種が所属し、介護・医療・福祉というそれぞれの得意分野を生かし、必要に応じて介護保険サービスに繋がったり、総合相談に応じるなどきめ細やかなサービスを實現し、住民の皆様が安心して生活できる環境を目指して取り組んでいます。

三十一年度より介護者の集い・家族介護教室の名称が変わります。内容は同じ立場の介護者と集い、介護に役立つ教室の開催、ストレス解消のイベントなど介護者が地域で孤立しないよう、町ぐるみで地域と繋がる居場所作りをしています。